

## 国内自転車生産・輸出入状況（平成27年1～6月）

### 1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

平成27年1～6月期においては、台数面では引き続き低調な状態が続いており、生産台数は過去10年間で最低、輸入台数も平成13年1～6月期以来14年ぶりの低水準となっている。一方で金額面から見ると高水準であり、生産金額は過去10年間で2番目の多さ、輸入金額は過去15年間で最高となっている。これには為替の影響も反映されているものと思われる。

### 2. 我が国の自転車生産

#### 2-1 平成27年1～6月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成27年1～6月の我が国の完成自転車生産台数は460,063台、完成自転車生産金額は235億7,000万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は9.4%減、総生産金額も5.4%減となっている。また平成27年1～6月の完成自転車生産平均単価は51,232円となっており、前年同期の49,076円から4.4%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成27年1～6月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成27年1～6月	460,063	23,570	51,232
平成26年1～6月	507,928	24,927	49,076
変化	-47,865	-1,357	2,156
変化%	-9.4%	-5.4%	4.4%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成27年1～6月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。全ての車種で減少していることが示されている。

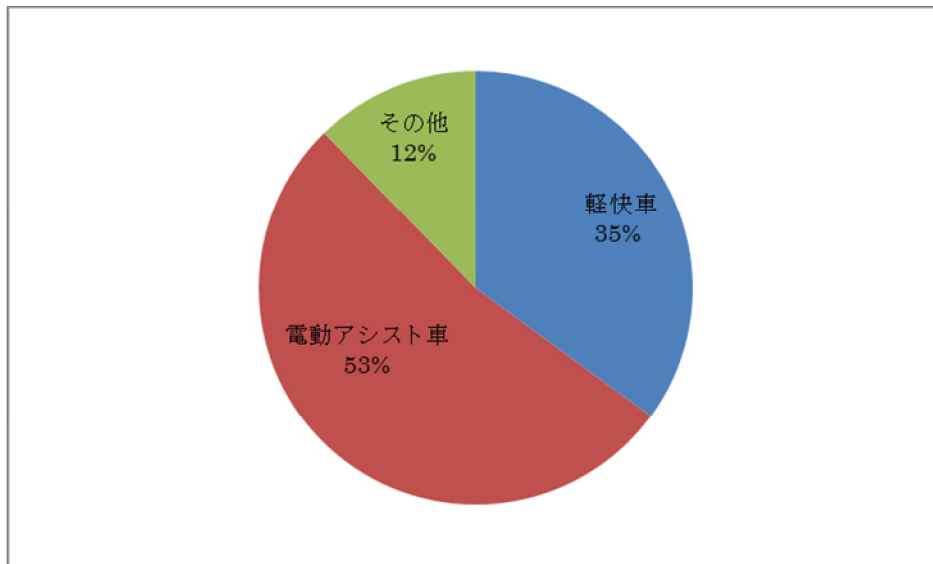
表2 車種別生産状況 平成27年1～6月と平成26年1～6月との比較

1～6月	平成27年		平成26年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	161,228	3,755	183,076	3,825	-21,848	-11.9	-70	-1.8
電動アシスト車	242,150	18,106	258,625	19,375	-16,475	-6.4	-1,269	-6.5
その他	56,685	1,710	66,227	1,728	-9,542	-14.4	-18	-1.0
計	460,063	23,570	507,928	24,927	-47,865	-9.4	-1,357	-5.4

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成27年1～6月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が53%を占め、次いで「軽快車」が35%を占めている。

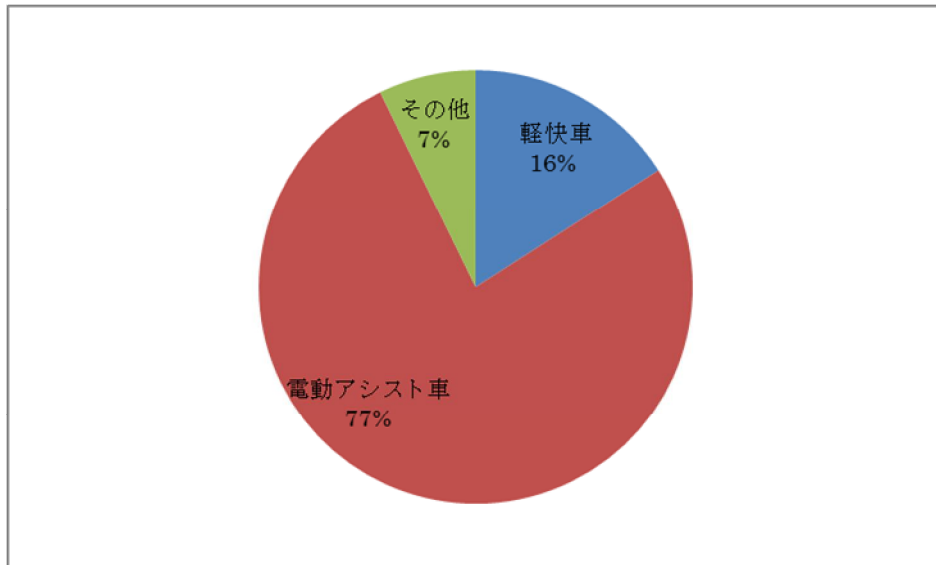
図A 平成27年1～6月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成27年1～6月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が77%を占めている。

図 B 平成 27 年 1～6 月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 27 年 1～6 月と平成 26 年 1～6 月とを比較した表 3 を示す。「電動アシスト車」の生産平均単価が僅かに下落していることがわかる。

表 3 車種別生産平均単価 平成 27 年 1～6 月と平成 26 年 1～6 月との比較

車種	平成 27 年 1～6 月 生産平均単価(円)	平成 26 年 1～6 月 生産平均単価(円)	変化 (円)	変化(%)
軽快車	23,290	20,893	2,397	11.5
電動アシスト車	74,772	74,915	-144	-0.2
その他	30,167	26,092	4,075	15.6
計	51,232	49,076	2,156	4.4

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 26 年数値は改定値）、

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表 4 の通りとなる。今年に入り対前年同月比減少となっている月も見られるようになってきている。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成27年と平成26年との比較

	平成27年			平成26年			生産台数の変化(台)	生産金額の変化(百万円)	平均単価の変化(円)
	生産台数(台)	生産金額(百万円)	平均単価(円)	生産台数(台)	生産金額(百万円)	平均単価(円)			
1月	37,302	2,547	68,281	39,834	2,930	73,555	-2,532	-383	-5,275
2月	36,666	2,837	77,374	42,915	3,124	72,795	-6,249	-287	4,579
3月	44,783	3,172	70,830	50,093	3,709	74,042	-5,310	-537	-3,212
4月	44,113	3,380	76,621	42,224	3,179	75,289	1,889	201	1,332
5月	38,962	3,021	77,537	40,431	3,096	76,575	-1,469	-75	962
6月	40,324	3,149	78,092	43,128	3,337	77,374	-2,804	-188	718
1~6月	242,150	18,106	74,772	258,625	19,375	74,915	-16,475	-1,269	-144

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

## 2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成27年1~6月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
平成27年1~6月と平成26年1~6月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷		その他 (台)	6月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売			
				台数	金額(百万円)		
平27.1~6 軽快車	161,228	3,755	415,339	413,750	7,087	194,118	61,492
平26.1~6 軽快車	183,076	3,825	461,918	518,904	8,002	187,202	61,628
変化%	-11.9	-1.8	-10.1	-20.3	-11.4	3.7	-0.2
平27.1~6 電動アシスト車	242,150	18,106	173,028	244,739	17,451	172,794	28,010
平26.1~6 電動アシスト車	258,625	19,375	174,497	258,876	18,285	173,955	25,315
変化%	-6.4	-6.5	-0.8	-5.5	-4.6	-0.7	10.6
平27.1~6 その他	56,685	1,710	220,663	211,766	4,639	71,945	27,103
平26.1~6 その他	66,227	1,729	213,547	219,087	4,143	73,359	29,317
変化%	-14.4	-1.1	3.3	-3.3	12.0	-1.9	-7.6
平27.1~6 全車種計	460,063	23,570	809,030	870,255	29,179	438,857	116,605
平26.1~6 全車種計	507,928	24,927	849,962	996,867	30,429	434,516	116,260
変化%	-9.4	-5.4	-4.8	-12.7	-4.1	1.0	0.3

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成27年1～6月の全車種の「受入」台数は平成26年1～6月の「受入」台数に比べ4.8%減少した。車種別には、「軽快車」が10.1%減少したほか、「電動アシスト車」の「受入」台数も0.8%減少した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成27年1～6月の全車種の「出荷・販売」台数は平成26年1～6月のそれに比べ12.7%減少した。全ての車種で減少している。「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は4.1%減少し、車種別では「軽快車」が11.4%、「電動アシスト車」が4.6%各々減少した。

平成27年1～6月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成26年1～6月のそれに比べ1.0%増加した。車種別にみると、「軽快車」が3.7%増加した一方で、「電動アシスト車」が0.7%、「その他」が1.9%各々減少した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成27年6月の全車種の「月末在庫」台数は116,605台で、前年同月と同水準である。

### 2-3 1～6月の生産状況の過去10年間の推移

表6に平成18年から平成27年まで過去10年間の毎年1～6月の我が国の自転車生産、出荷及び6月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～6月の自転車生産・出荷  
及び6月末在庫の過去10年間の推移

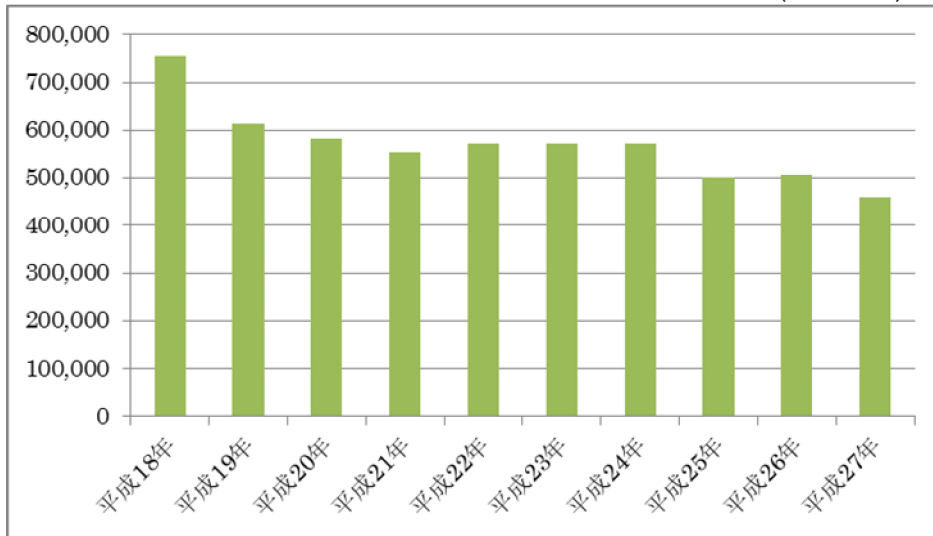
1～6月	生産			出荷			6月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成27年	460,063	23,570	51,232	870,255	29,179	33,529	116,605
平成26年	507,928	24,927	49,076	996,867	30,429	30,525	116,260
平成25年	501,245	21,724	43,340	1,117,480	30,014	26,859	192,663
平成24年	572,870	23,413	40,870	1,518,578	33,996	22,387	212,882
平成23年	573,193	22,576	39,386	1,764,506	37,151	21,055	171,886
平成22年	571,753	20,103	35,160	1,720,957	32,846	19,086	210,186
平成21年	554,590	17,143	30,911	1,730,486	30,985	17,905	190,256
平成20年	582,440	14,409	24,739	1,942,549	29,031	14,945	191,694
平成19年	614,441	13,200	21,483	2,060,732	26,659	12,937	209,947
平成18年	755,461	14,282	18,905	2,281,242	27,158	11,905	232,646

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年以前の数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成27年1～6月の「生産台数」は過去10年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去10年間で2番目となっている。これらのことから「生産平均単価」は過去10年間で最高である。また平成27年1～6月の「出荷台数」は過去10年間で最低で、「出荷金額」は過去10年間で7番目であった。「出荷平均単価」は過去10年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が10年間一貫して高くなっている。「6月末在庫台数」は116,605台で、過去10年間で2番目に少なくなっている。

表6を基に平成18年から平成27年までの過去10年間の毎年1～6月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にあることが示されている。

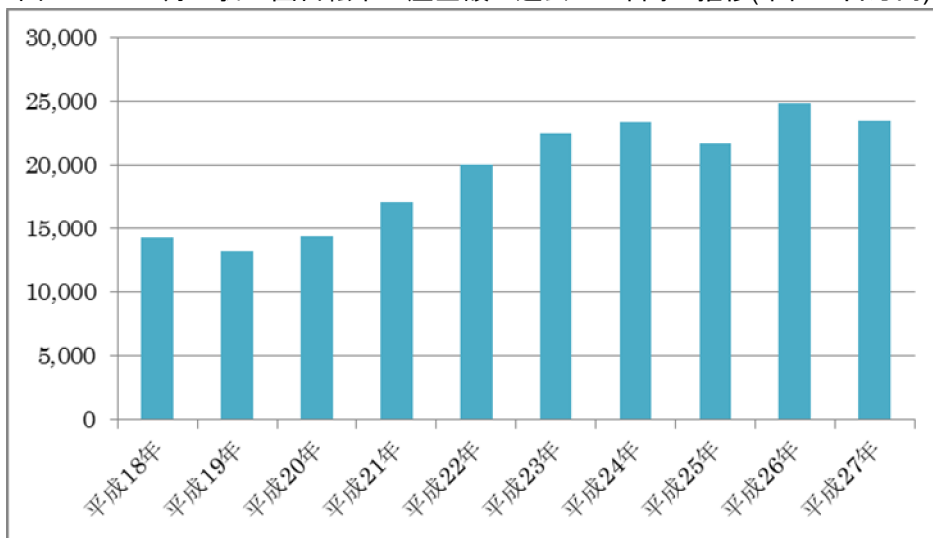
図 C 1～6月の我が国自転車生産台数の過去10年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成27年までの過去10年間の毎年1～6月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額の増加傾向に歯止めがかかりつつあるようにも見受けられる。

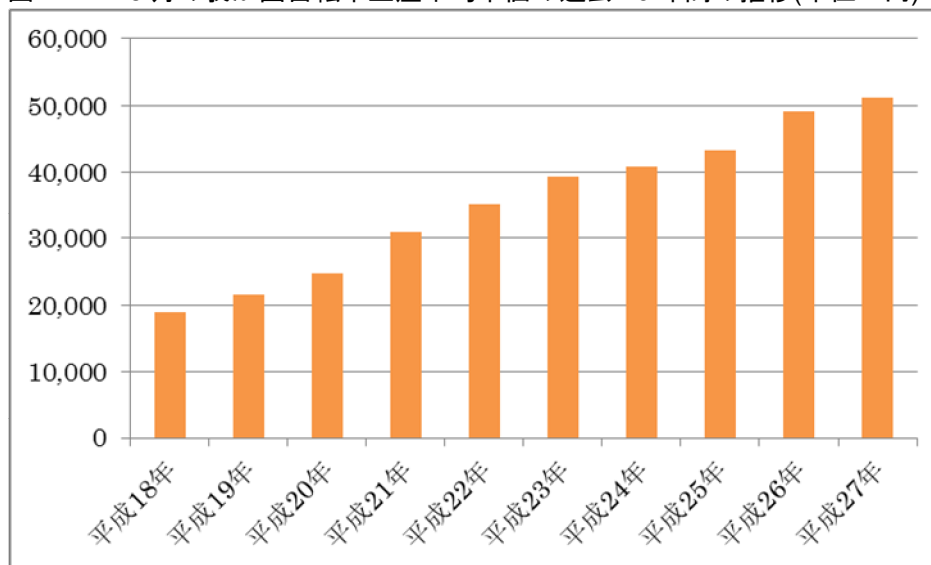
図 D 1～6月の我が国自転車生産金額の過去10年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成18年から平成27年までの過去10年間の毎年1～6月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。

図 E 1～6月の我が国自転車生産平均単価の過去10年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去10年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去10年間の推移(単位：台)

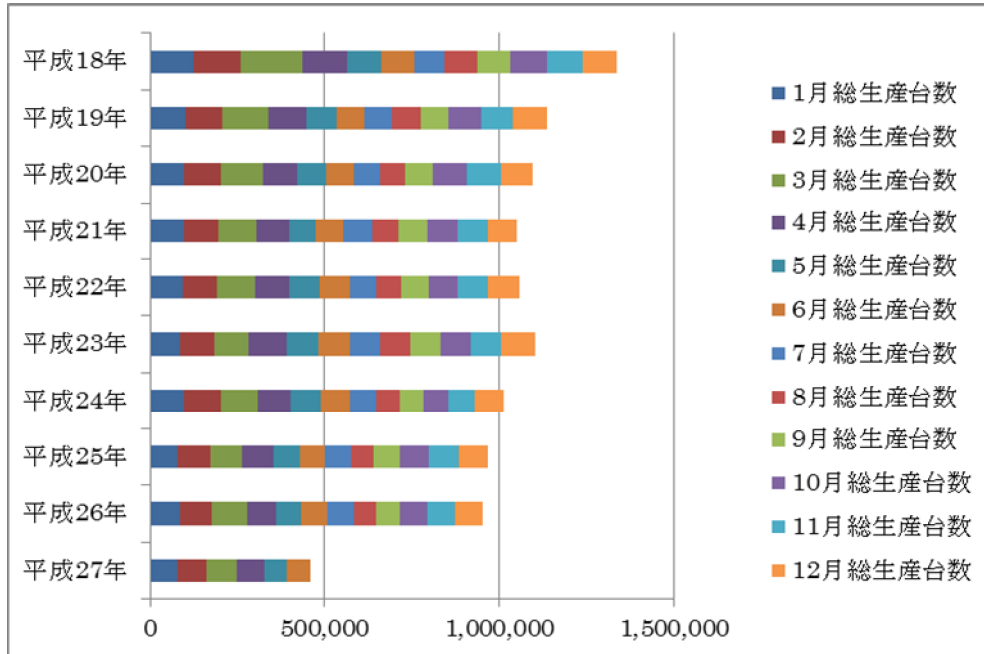
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成27年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
平成26年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成25年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成24年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成23年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成22年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成21年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成20年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成19年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成18年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成27年							460,063
平成26年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成25年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成24年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成23年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成22年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成21年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成20年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成19年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成18年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表7の月毎の総生産台数の過去10年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図F 月毎の総生産台数の過去10年間の推移（単位：台）



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に1～6月の車種別の生産台数の過去10年間の推移を表8に示す。

表8 1～6月の車種別生産台数の過去10年間の推移（単位：台）

年	軽快車	電動アシスト車	その他
平成27年	161,228	242,150	56,685
平成26年	183,076	258,625	66,227
平成25年	203,896	227,086	70,263
平成24年	275,061	227,108	70,701
平成23年	285,584	216,638	70,971
平成22年	299,341	186,858	85,554
平成21年	303,884	154,006	96,700
平成20年	357,363	138,377	86,700
平成19年	389,936	131,511	92,994
平成18年	517,128	123,999	114,334

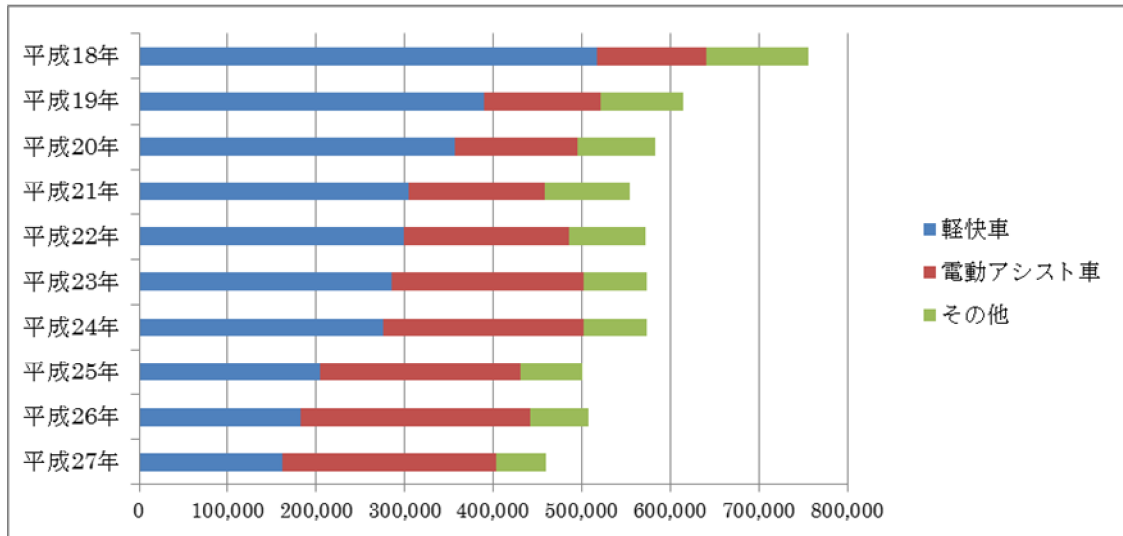
平成23年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成18年から平成22年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8に示した1～6月の車種別の生産台数の過去10年間の推移をグラフにより示したものが図Gである。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様様が示されている。



図 G 1～6月の車種別生産台数の過去10年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中にも含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-1 平成27年1~6月の輸入状況の概要

表10は、平成27年1~6月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は3,940,565台となり前年同期から13.1%減少した。一方、総CIF金額は50,889,066千円となり前年同期比6.9%増加した。これらの結果、平均CIF単価は12,914円となり前年同期比23.0%と大きく上昇した。

但しこの間のドル円為替レートを見ると、平成26年1~6月の平均レートはUS1\$=JPY102.70であったのに対し、平成27年1~6月の平均レートはUS1\$=JPY119.99(ともに税関長公示レートを参考にした)と、16.8%も円安になっている。この円安の進行が同期間の平均CIF単価の上昇の大きな原因の一つになっているとみられる。

表10 平成27年1~6月の我が国の自転車輸入 平成26年1~6月との比較  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成27年1~6月	3,940,565	50,889,066	12,914
平成26年1~6月	4,537,063	47,623,581	10,497
変化	-596,498	3,265,485	2,418
変化%	-13.1	6.9	23.0

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

参考まで平成27年1~6月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表10附表 参考 平成27年1~6月の我が国の  
「その他のモーターサイクル」の輸入 平成26年1~6月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成27年1~6月	24,216	952,837	39,347
平成26年1~6月	27,771	1,083,202	39,005
変化	-3,555	-130,365	343
変化%	-12.8	-12.0	0.9

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-2 平成27年1~6月の車種別輸入状況

表11は平成27年1~6月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 1 1 平成 27 年 1～6 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	107,818	2,720,434	25,232
8712.00211 ミニサイクル	65,025	761,265	11,707
8712.00218 幼児車	254,851	2,006,546	7,873
8712.00219 子供車	901,826	9,597,185	10,642
8712.00291 軽快車	1,329,178	14,616,972	10,997
8712.00299 その他	1,281,867	21,186,664	16,528
計	3,940,565	50,889,066	12,914

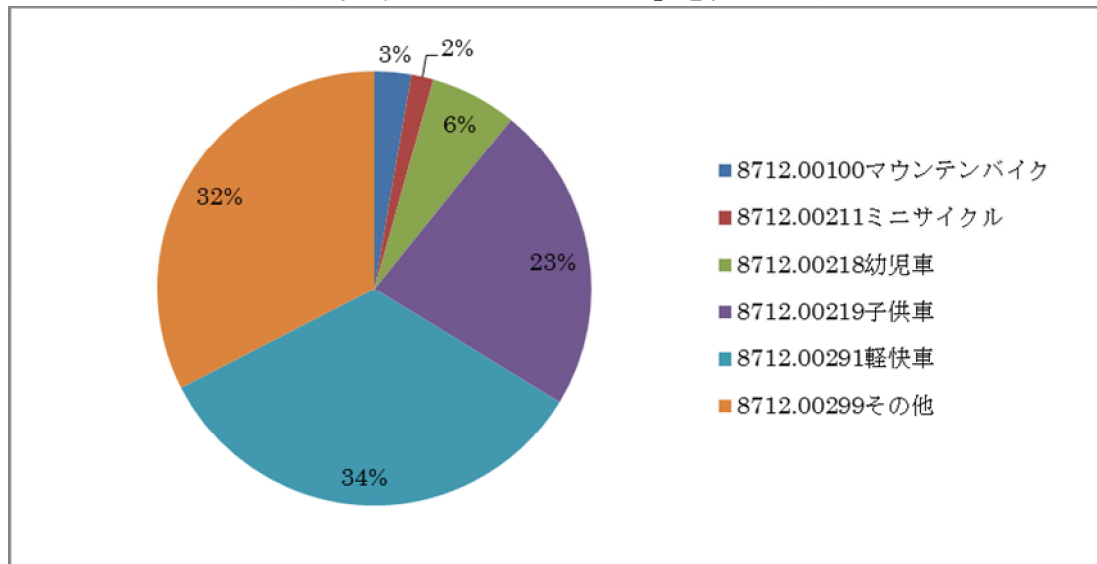
8711.90000 その他のモーターサイクル	24,216	952,837	39,347
-------------------------	--------	---------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 25,232 円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は最も台数が多く、平均 CIF 単価は 10,997 円となっている。また 8712.00299 に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、台数は「軽快車」に迫っており、総 CIF 金額は各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 16,528 円である。

表 1 1 を基に、平成 27 年 1～6 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「軽快車」が 34% を占め、次いで「その他」が 32% を占めている。

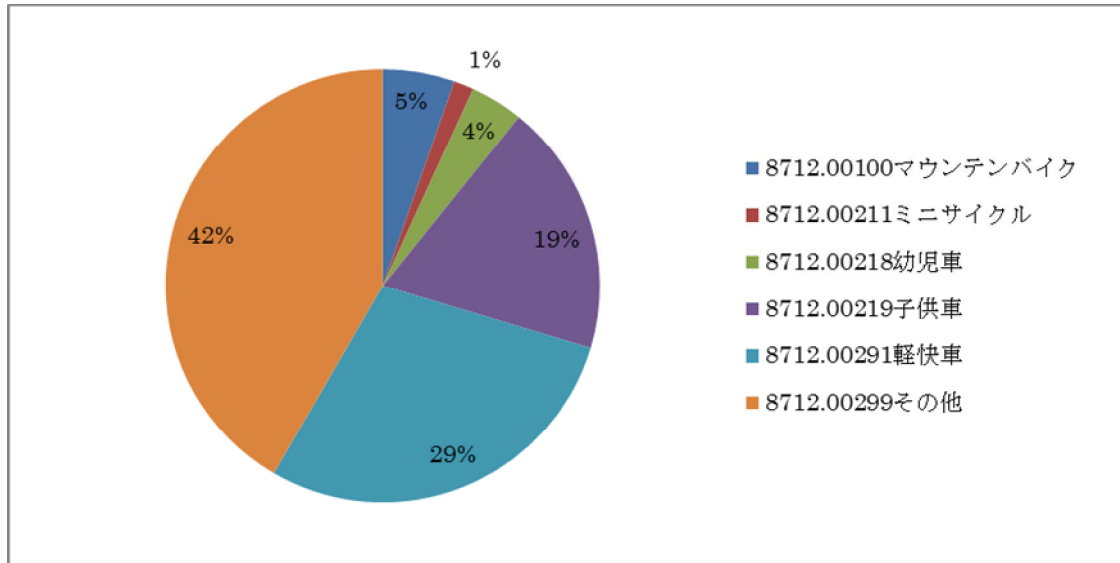
図 H 平成 27 年 1～6 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 27 年 1～6 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 42%、「軽快車」が 29% と大きな割合を占めている。

図1 平成27年1～6月の我が国自転車輸入 車種別CIF金額の割合  
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12は平成27年1～6月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。

表12 我が国の車種別自転車輸入 平成27年1～6月と平成26年1～6月との比較

1～6月 車種	平成27年		平成26年		変化%	
	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額
8712.00100 マウンテンバイク	107,818	2,720,434	115,796	2,119,112	-6.9%	28.4%
8712.00211 ミニサイクル	65,025	761,265	73,373	801,032	-11.4%	-5.0%
8712.00218 幼児車	254,851	2,006,546	320,422	2,322,752	-20.5%	-13.6%
8712.00219 子供車	901,826	9,597,185	1,079,838	9,619,199	-16.5%	-0.2%
8712.00291 軽快車	1,329,178	14,616,972	1,613,470	15,250,740	-17.6%	-4.2%
8712.00299 その他	1,281,867	21,186,664	1,334,164	17,510,746	-3.9%	21.0%
計	3,940,565	50,889,066	4,537,063	47,623,581	-13.1%	6.9%
平均単価(円)		12,914		10,497		23.0%

8711.90000 その他のモーター サイクル	24,216	952,837	27,771	1,083,202	-12.8%	-12.0%
平均単価(円)		39,347		39,005		0.9%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

全ての車種で台数が減少した。その中で「マウンテンバイク」及び「その他」は金額が増加していることがわかる。

### 3-3 1~6月の輸入状況の過去15年間の推移

表13は毎年1~6月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移を示したものである。

表13 毎年1~6月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移 全車種  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

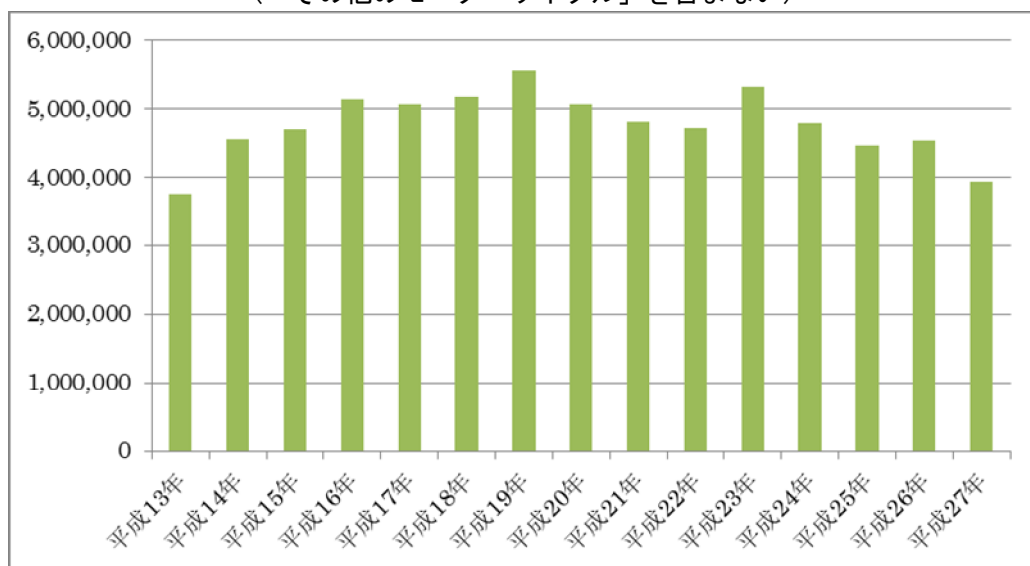
年	総輸入台数	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成27年	3,940,565	50,889,066	12,914
平成26年	4,537,063	47,623,581	10,497
平成25年	4,471,862	43,332,516	9,690
平成24年	4,798,280	41,064,255	8,558
平成23年	5,331,948	41,315,173	7,749
平成22年	4,723,113	36,870,424	7,806
平成21年	4,821,939	41,444,013	8,595
平成20年	5,067,152	42,007,396	8,290
平成19年	5,564,067	43,338,309	7,789
平成18年	5,176,368	37,205,484	7,188
平成17年	5,066,553	31,690,477	6,255
平成16年	5,136,236	30,997,096	6,035
平成15年	4,696,630	31,062,819	6,614
平成14年	4,558,983	32,773,081	7,189
平成13年	3,755,778	28,556,556	7,603

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成27年1~6月の総輸入台数は、過去15年間で平成13年以来の少なさである。一方、平成27年1~6月の総CIF金額は過去15年間で最高である。これらの事から平均CIF単価は12,914円となり、これも過去15年間で最高となっている。

表13を基に平成13年から平成27年までの過去15年間の毎年1~6月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図Jである。

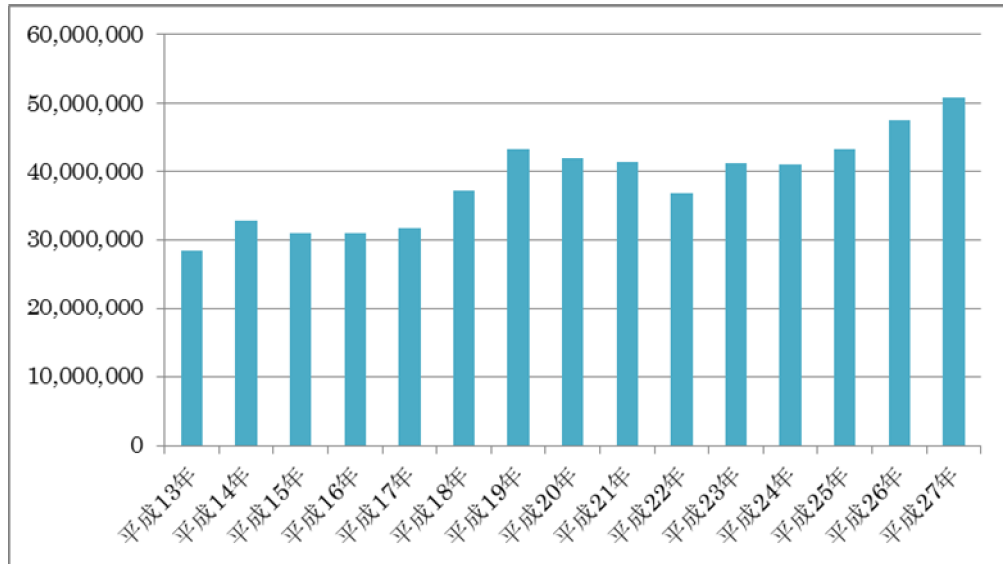
図J 毎年1~6月の我が国自転車輸入総台数の過去15年間の推移(単位：台)  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K ある。

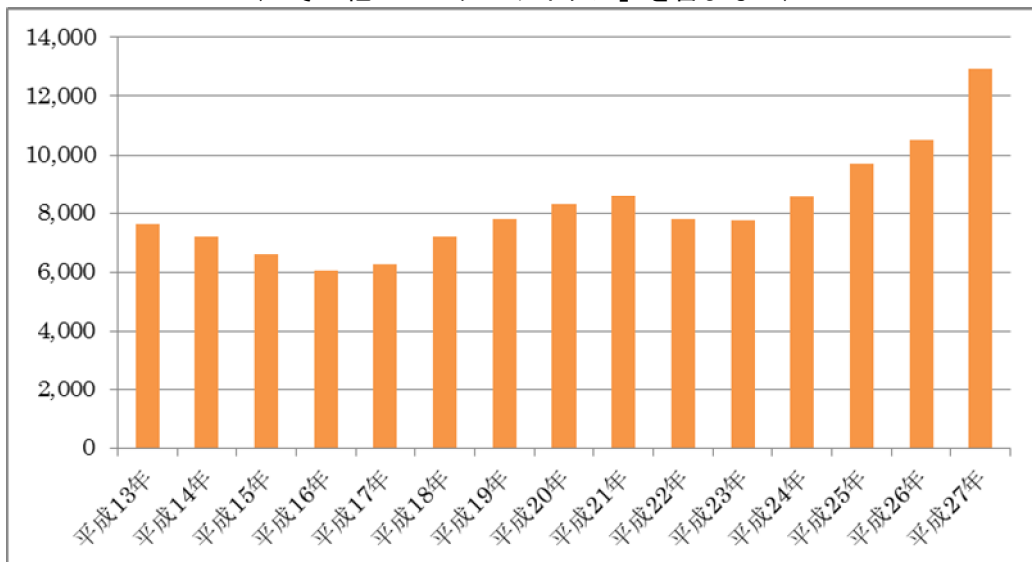
図 K 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。平成 27 年の各月の輸入台数は低調で、3 月から 6 月にかけて単月の輸入台数が過去 15 年間で最低という状況が続いている。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「その他のモーターサイクル」を含まない）  
の過去 15 年間の推移（単位：台）

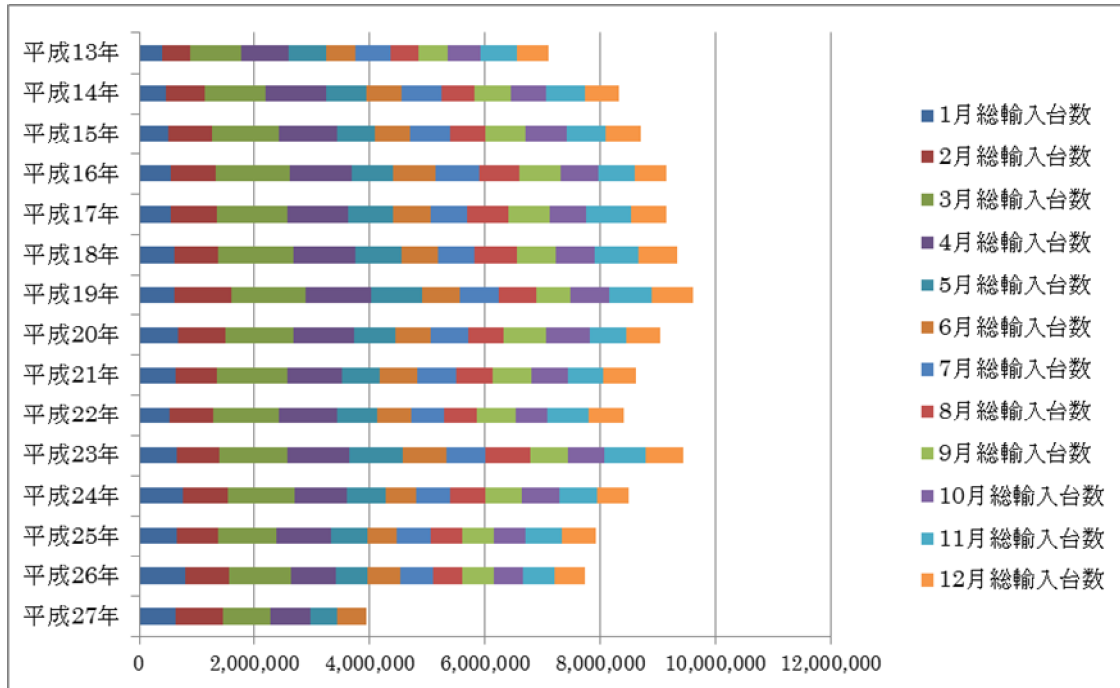
年	1 月総輸入台数	2 月総輸入台数	3 月総輸入台数	4 月総輸入台数	5 月総輸入台数	6 月総輸入台数
平成 27 年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成 14 年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成 13 年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7 月総輸入台数	8 月総輸入台数	9 月総輸入台数	10 月総輸入台数	11 月総輸入台数	12 月総輸入台数	総輸入台数
平成 27 年							3,940,565
平成 26 年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成 25 年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成 24 年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成 23 年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成 22 年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成 21 年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成 20 年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成 19 年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成 18 年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成 17 年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成 16 年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成 15 年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成 14 年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成 13 年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 5 は、毎年 1～6 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

表 1 5 毎年 1～6 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

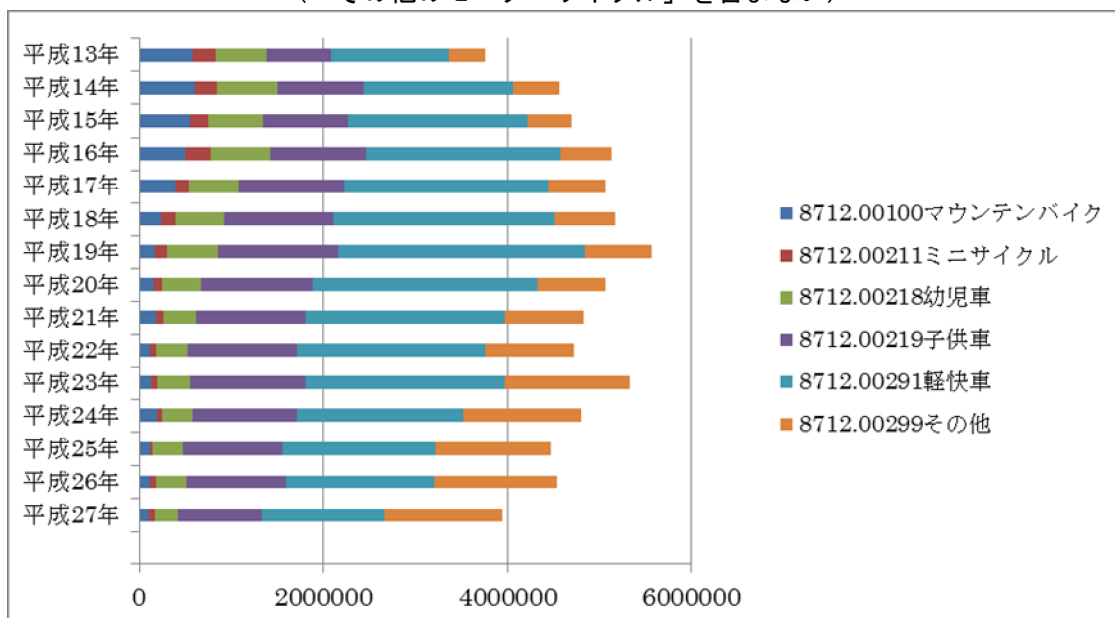
	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 27 年	107,818	65,025	254,851	901,826	1,329,178	1,281,867	3,940,565
平成 26 年	115,796	73,373	320,422	1,079,838	1,613,470	1,334,164	4,537,063
平成 25 年	112,378	36,363	328,153	1,080,442	1,656,647	1,257,879	4,471,862
平成 24 年	190,955	53,801	340,845	1,125,604	1,808,960	1,278,115	4,798,280
平成 23 年	133,186	65,450	361,109	1,252,489	2,153,138	1,366,576	5,331,948
平成 22 年	112,694	72,310	337,421	1,186,829	2,055,075	958,784	4,723,113
平成 21 年	178,663	82,579	361,821	1,183,163	2,170,068	845,645	4,821,939
平成 20 年	153,604	96,776	422,657	1,217,508	2,438,420	738,187	5,067,152
平成 19 年	165,451	140,261	550,506	1,302,037	2,681,058	724,754	5,564,067
平成 18 年	236,521	162,182	527,333	1,179,149	2,412,514	658,619	5,176,318
平成 17 年	388,361	155,871	535,139	1,154,215	2,213,253	619,714	5,066,553
平成 16 年	498,563	283,292	636,625	1,042,198	2,113,227	562,331	5,136,236
平成 15 年	551,806	199,093	589,703	928,226	1,946,648	481,154	4,696,630
平成 14 年	603,546	243,991	661,858	925,448	1,625,851	498,289	4,558,983
平成 13 年	575,899	254,958	557,492	690,578	1,280,317	396,534	3,755,778

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。



図 N 毎年 1～6 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年 1～6 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去 15 年間の推移を表 1 6 に示す。

表 1 6 参考 毎年 1～6 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去 15 年間の推移

年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 27 年	24,216	952,837	39,347
平成 26 年	27,771	1,083,202	39,005
平成 25 年	40,141	1,410,437	35,137
平成 24 年	20,507	606,910	29,595
平成 23 年	35,722	894,645	25,045
平成 22 年	50,429	1,254,666	24,880
平成 21 年	37,218	877,317	23,572
平成 20 年	29,476	679,730	23,060
平成 19 年	38,825	945,935	24,364
平成 18 年	45,506	810,855	17,819
平成 17 年	53,759	841,246	15,648
平成 16 年	59,349	838,465	14,128
平成 15 年	171,388	1,269,150	7,405
平成 14 年	73,840	679,272	9,199
平成 13 年	10,883	294,035	27,018

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成27年1~6月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表17である。

表17 平成27年1~6月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	3,785,631	96.1	42,890,064	84.3	11,330
台湾	145,023	3.7	7,318,925	14.4	50,467
その他	9,911	0.3	680,077	1.3	68,618
計	3,940,565	100.0	50,889,066	100.0	12,914

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の96.1%、総CIF金額の84.3%を占めている。平均CIF単価は11,330円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の3.7%、総CIF金額の14.4%を占め、平均CIF単価は50,467円である。これら2つの国・地域で総台数の99.7%、総CIF金額の98.7%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表18のようになっている。

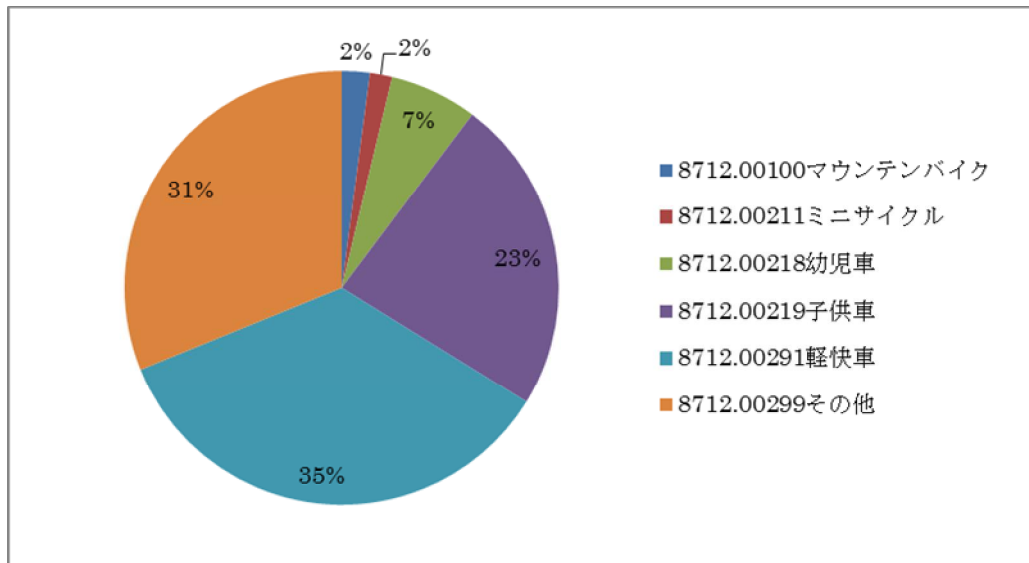
表18 平成27年1~6月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入  
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	78,859	1,535,643	19,473
8712.00211 ミニサイクル	62,998	650,251	10,322
8712.00218 幼児車	246,919	1,844,811	7,471
8712.00219 子供車	890,459	9,376,842	10,530
8712.00291 軽快車	1,327,739	14,559,281	10,965
8712.00299 その他	1,178,657	14,923,236	12,661
計	3,785,631	42,890,064	11,330

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した平成27年1~6月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Oである。「軽快車」が35%を占め、次いで「その他」が31%を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図Hと似た状態が示されている。

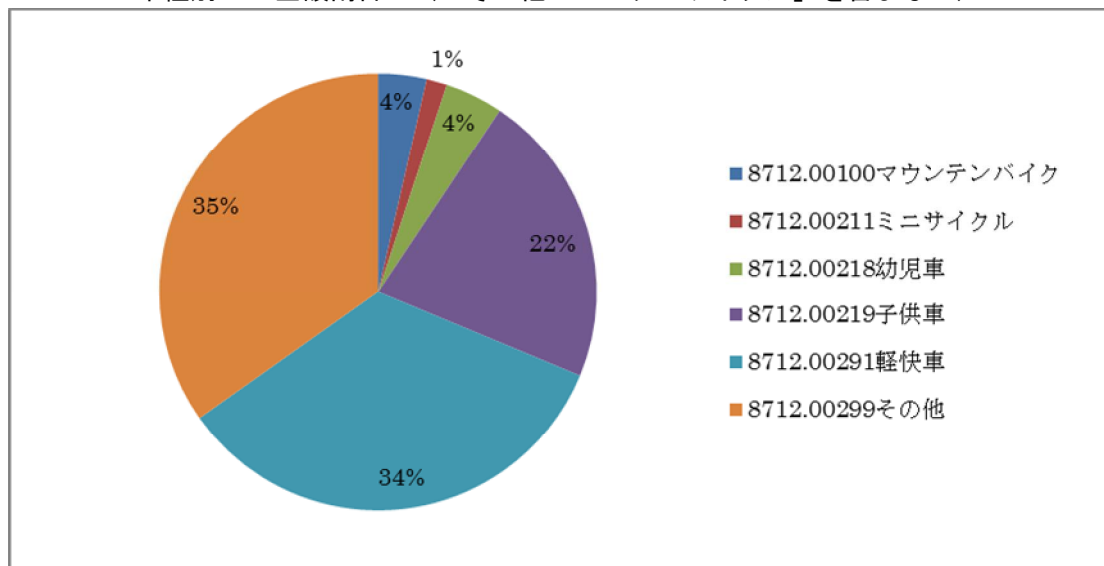
図 O 平成 27 年 1～6 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 8 に示した平成 27 年 1～6 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「その他」が 35% を占め、次いで「軽快車」が 34% を占めている。

図 P 平成 27 年 1～6 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 1 9 のようになっている。

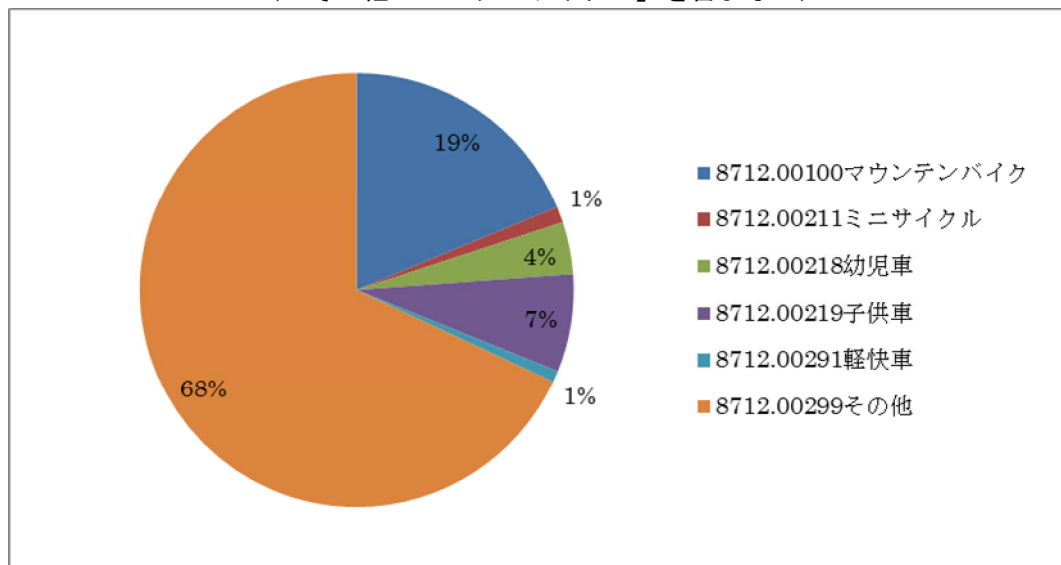
表19 平成27年1~6月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入  
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	27,181	1,066,386	39,233
8712.00211 ミニサイクル	1,731	83,769	48,393
8712.00218 幼児車	5,647	42,690	7,560
8712.00219 子供車	10,577	184,065	17,402
8712.00291 軽快車	1,226	45,852	37,400
8712.00299 その他	98,661	5,896,163	59,762
計	145,023	7,318,925	50,467

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表19に示した平成27年1~6月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Qである。全体の輸入状況を表した図Hや「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図Oとは全く異なり、「その他」が68%、「マウンテンバイク」が19%と大きな割合を占める一方で、「軽快車」は僅か1%を占めるにすぎない状況となっている。

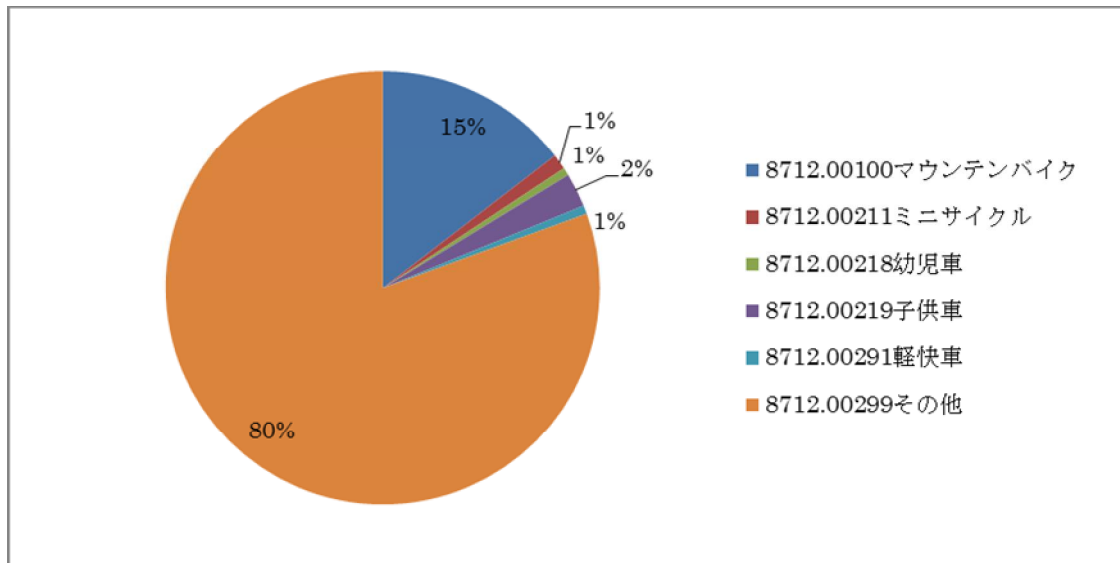
図Q 平成27年1~6月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合  
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表19に示した平成27年1~6月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Rである。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が80%を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が15%を占め、「軽快車」はやはり1%を占めるに過ぎない。

図 R 平成 27 年 1～6 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合  
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 27 年 1～6 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 20 に示す。

表 20 参考 平成 27 年 1～6 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の  
 輸入主要供給元 平成 26 年 1～6 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
平 27.1～6 中華人民共和国	23,613	97.5	825,180	86.6	34,946
平 26.1～6 中華人民共和国	27,343	98.5	1,041,914	96.2	38,105
変化	-3,730	-0.9	-216,734	-9.6	-3,159
平 27.1～6 台湾	513	2.1	88,657	9.3	172,821
平 26.1～6 台湾	392	1.4	24,651	2.3	62,885
変化	121	0.7	64,006	7.0	109,935
平 27.1～6 その他	90	0.4	39,000	4.1	433,333
平 26.1～6 その他	36	0.1	16,637	1.5	462,139
変化	54	0.2	22,363	2.6	-28,806
平 27.1～6 計	24,216	100.0	952,837	100.0	39,347
平 26.1～6 計	27,771	100.0	1,083,202	100.0	39,005
変化	-3,555		-130,365		343

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～6月の「国内向け数量」について、生産台数と輸入台数の相互比較が可能な過去10年間の推移を表2-1に示す。生産台数・輸入台数とも過去10年間で最も少なくなったため、平成27年1～6月の「国内向け数量」も過去10年間で最低となっている。また国内生産比率は10.5%であった。

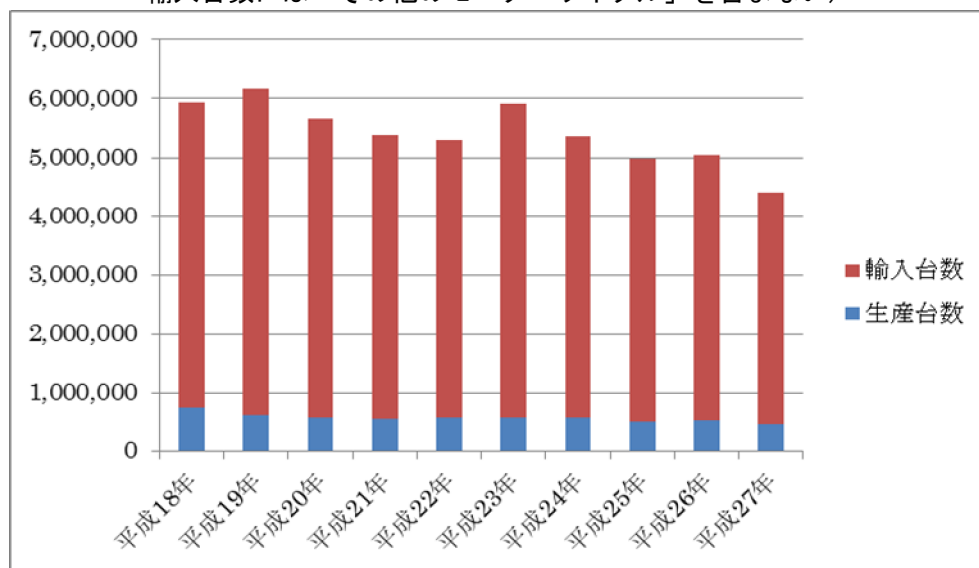
表2-1 毎年1～6月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去10年間の推移  
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成27年	460,063	3,940,565	4,400,628	10.5
平成26年	508,373	4,537,063	5,045,436	10.1
平成25年	501,246	4,471,862	4,973,108	10.1
平成24年	572,870	4,798,280	5,371,150	10.7
平成23年	573,193	5,331,948	5,905,141	9.7
平成22年	571,753	4,723,113	5,294,866	10.8
平成21年	554,590	4,821,939	5,376,529	10.3
平成20年	582,440	5,067,152	5,649,592	10.3
平成19年	614,441	5,564,067	6,178,508	9.9
平成18年	755,461	5,176,318	5,931,779	12.7

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Sである。

図S 毎年1～6月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去10年間の推移  
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成26年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 27 年 6 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 2 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 2 平成 27 年 6 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価 (円)
ミャンマー	53,090	90,287	1,701
カンボジア	50,448	86,302	1,711
ガーナ	44,141	68,429	1,550
アフガニスタン	34,791	60,345	1,735
タンザニア	32,712	53,398	1,632
UAE	26,781	49,548	1,850
ナイジェリア	13,104	29,903	2,282
フィリピン	12,608	20,615	1,635
タイ	10,748	29,758	2,769
パキスタン	10,525	17,848	1,696
その他	34,153	98,516	2,885
計	323,101	604,949	1,872

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 3 に平成 13 年から平成 27 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数・総金額ともに増加傾向にあり平成 27 年 1～6 月は過去 15 年間で最高となっている。平成 27 年 1～6 月の平均 FOB 単価は 1,783 円で、これも過去 15 年間で最高となっている。

表 2 3 毎年 1～6 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価 (円)
平成 27 年	1,741,447	3,105,750	1,783
平成 26 年	1,598,330	2,385,563	1,493
平成 25 年	1,560,970	2,090,763	1,339
平成 24 年	1,472,001	1,919,884	1,304
平成 23 年	1,229,534	1,612,630	1,312
平成 22 年	1,183,762	1,585,455	1,339
平成 21 年	1,086,363	1,498,350	1,379
平成 20 年	1,154,173	1,923,095	1,666
平成 19 年	866,620	1,118,874	1,291
平成 18 年	643,714	698,402	1,085
平成 17 年	548,346	628,453	1,146
平成 16 年	481,314	613,121	1,274
平成 15 年	370,119	519,216	1,403
平成 14 年	298,521	393,282	1,317
平成 13 年	239,710	356,495	1,487

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上